

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都橋大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトタチバナダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	近畿地方(大阪府を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	キャリア開発演習2、インターンシップB・C・D、現代ビジネス演習1・2・3・4
	学部・研究科等名	文学部、人間発達学部、現代ビジネス学部、健康科学部
	担当教職員名・役職	小暮 宣雄(教授)、平尾 毅(教授)、小林 裕子(准教授)、片岡 裕介(准教授)、福井 弘幸(専任講師)
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	49	
受入企業等数	54	
受入企業等名	http://www.tachibana-u.ac.jp/career/develop/internship/index.html	
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等における業務の従事においては、実習先事業所の基幹的・補助的業務の一部を経験します。事業所によっては、学生が希望を踏まえて、実習内容を設計・実施していただいています。企業等における課題の解決においては、「街づくり」をテーマに就業体験やフィールドワークを通じて、街の課題に対して解決策の提案を行います。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次・2年次・3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前研修13コマ、夏期休暇中に実働10日間以上のインターンシップ、事後研修5コマ、体験報告会を組み合わせ実施しています。本学の専任教員が自身の専門を生かしながらも所属学科を越えて、事前・事後研修や実習前・実習後の学生面談を担当し、学生一人ひとりの成長を促すプログラムとなっています。インターンシップ先の業種は幅広く、仕事理解だけでなく、PBLを盛り込んだプログラムも実施しています。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	実習の中間日に電話にて学生本人に状況確認を行っています。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	約50名の受講生が1クラスで事前研修を受講します。グループディスカッションを中心に研修を実施し、「目標設定」「ビジネスマナー」が主な研修内容です。ロジックツリーを用いて成長目標と行動目標を設定します。受入事業所の方にご講演いただき、社会人の考え方や視点を学ぶ機会も設け、目標設定に役立てます。インターンシップに向けて必要となる、ビジネスマナーの習得やリスクマネジメントについても学びます。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	「振り返りと共有」「今後に向けた目標設定」が主な研修内容です。インターンシップの内容、学んだこと、新たに気づいた課題、働くことについてグループで意見交換を行います。グループワークの内容を踏まえ、今後の学生生活に向けて新たな目標設定を行います。プログラムの集大成として、受入事業所の担当者様や低回生を対象に体験報告会を実施しています。体験報告会は、受講生自ら学内の広報や当日準備・運営を行います。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	遠方および新規受入事業所に対して、教職員が訪問し担当者の方や学生に直接会い、ヒアリングを行います。また、実習の中間日に電話にて学生本人に状況確認を行っています。実習の状況や困っていることなどを確認し、適宜アドバイスを行います。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	インターンシップの前後にインターンシップ担当教員が学生と面談します。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	アクションプランを作成し、実習前に目標を設定します。インターンシップ前の教員面談で目標や行動目標をより明確にします。インターンシップ後には、振り返りを行い設定した目標の達成度や課題を考えます。学生自身で振り返った後、インターンシップ後の教員面談を行い、成長と課題をより明確にします。最後に報告書を作成し、インターンシップを通じた成長・変化を言語化します。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実働10日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	事業所によっては、連続ではない実働10日間以上のインターンシップを実施しています。
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	すべての実習事業所にて実働10日間以上のインターンシップを行っています。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前研修時に受入事業所の方に講演いただき、学生の意識向上や目的設定につなげています。インターンシップ前には、学生が担当者を訪問し、参加目的や目標を共有し、実習に臨みます。事前訪問時に実習内容等の希望も学生自身が伝え、インターンシッププログラムを修正・決定する場合があります。実習後は実習生評価票やアンケートを提出いただき、学生の指導やプログラムの改善につなげています。

	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.tachibana-u.ac.jp/career/develop/internship/index.html
問い合わせ先	大学等名	京都橘大学
	担当部署名	就職進路課キャリアセンター
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	075-574-4117
	メールアドレス	career@tachibana-u.ac.jp